

8人家族の9歳から97歳までの家族全員がコロナ陽性になり、レメディの対応で回復し、その後の味覚障害にポースティラで味覚を取り戻したケース

岡野桃絵

日本ホメオパシーセンター福岡博多南

RAH12 期卒

下は9歳から上は97歳までの家族全員がコロナ陽性になり、レメディでの対応で回復し、その後の味覚障害にポースティラを使用しました。

同じ病名であっても、症状の出方に違いがあり、ホームキットでそれぞれの症状にマッチしたレメディをとり、回復したケースです。

2022年4月

9歳の男の子が喉の痛みを訴え発熱。コロナの心配。12歳の男の子も発熱。48歳夫も発熱。我が家ではコロナであってもホメオパシーで対応をするつもりだったので、検査を必要とはしなかったが、学校の要望があって検査。3人全員に陽性反応。理解のあるお医者さんが近くにいるので、薬は処方してもらわず、それぞれの症状にあったレメディで対応。9歳、12歳の男の子は Acon や Bell で対処。

2日で熱も下がり症状も治まったが、45歳母親が強烈的な喉の痛みと肺の苦しさで発熱。Acon や Carb-v をとる。

18歳の娘も体調不良。高熱ではないが、検査で陽性反応。喉の痛み

Acon や Lach で対応

74歳の女性も発熱、体調不良はあるが、調子が悪いと感じる程度。検査で陽性反応。この時、97歳の祖母は無症状。

45歳母親の症状が最も重く、酸素濃度も80%程度。1週間は同じ症状が続く。1週間ほどすれば、少しずつ症状も軽くなってきた。

74歳女性のみ、食べ物の味がしなくなっていた。味覚障害で Plus のレメディが合うとの事だったので、1日3回3日として味覚が戻った。

みんなが良くなってきた頃、97歳の祖母が咳き込むように。事前に薬の使用をしたくない、病院には極力、かかりたくないと話しているので、検査のみ受け、陽性反応。

高齢なので心配したが、ほとんど軽い咳のみの症状だった。

初期症状に Acon、発熱時に Bell

肺の苦しさに Carb-v 咳にサポート Hai を使いながら、サポート Coion-V-DNA をそれぞれペットボトルに 10 滴ほど入れて取りました。

同じコロナ陽性であっても、家族であっても、症状はそれぞれに違い、その度にホームキットからマッチするレメディを探して取りました。

一般的に高齢者には特に注意をするように言われてましたが、この家族ではそれには当てはまらず、もっとも高齢だった祖母の症状が 1 番軽かった。

また、同じように生活していながら、22 歳の長男はこのタイミングでコロナにかからず、他の家族の症状が落ち着いて、2 週間ほど経ってコロナ陽性になっていた。

同じ病気や病名、家族であっても、それぞれの身体の具合によって症状は違いがあった。

私達にとってコロナパンデミックは未曾有の出来事であり、どのような症状にあっても軽率に考える事はなく、何かあればすぐに病院に行き医師の指示をもらう事は大切です。

その時の指示を実行するかや、別の方法に変えるのか...なども医師と本人が決める事である。

その為、日常から近くに自分の移行を知る医師を見つけておく事はとても大切な事だと思う。

日本は人口も減り、医師も患者が選べる時代が来ている。医師にしか権限がない事が多い日本では、理解ある医師探しも、今後の生活のキーパーソンとして付き合っていくべきだと思う。

誰より、自分の身体を知り、大切にし、体質や特徴を知る事で人生がより豊かになるキッカケにホメオパシーはなり得る。



@JPHMA & 岡野桃絵

先月 98 歳を無事に迎えた。